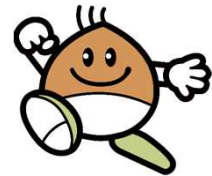


栗東市認知症初期集中支援チームの 取り組み状況について



令和3年度 第1回

栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会 資料

栗東市認知症初期集中支援チーム

目的

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に対する初期支援を包括的かつ集中的に行い、自立生活のサポートを行うため「認知症初期集中支援チーム」を配置するとともに、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的とする。

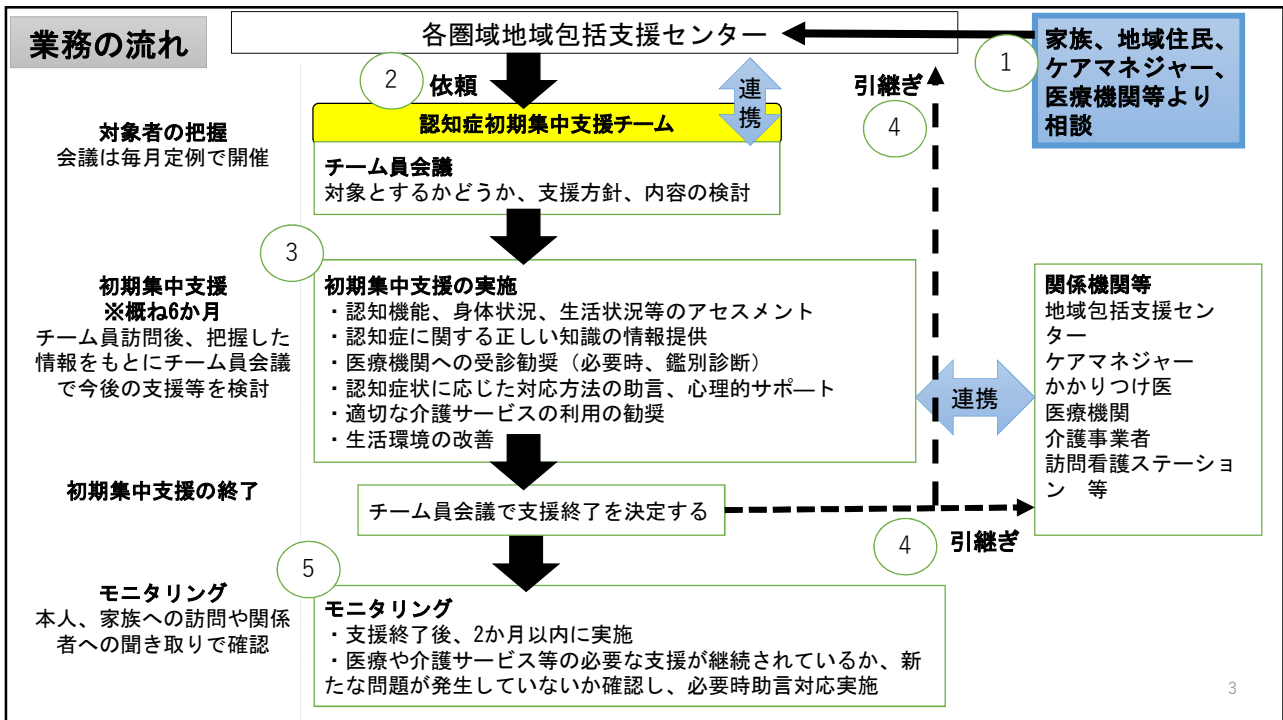
概要

医療・介護の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」が認知症（疑いを含む）の高齢者や家族を訪問し、認知機能や身体症状、生活状況の確認を行い、チーム員会議でのアセスメント、方向性に基づき、本人・家族に寄り添った支援や個々に応じた必要なケア等に繋いでいきます。

【支援対象者】

40歳以上で、在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人又は認知症の人で、次のいずれかに該当する者。

- ①医療サービス、介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する者
 - (ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない者
 - (イ) 継続的な医療サービスを受けていない者
 - (ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない者
 - (エ) 診断されたが介護サービスが中断している者
- ②医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している者



活動実績と訪問回数		※支援対象者は関わりから約半年後のモニタリングを終了した年度でカウント				
	平成29年度 (9月開始)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (6月末時点)	
	支援対象者	支援対象者	支援対象者	支援対象者	支援対象者	
栗東西圏域	1	3	1	2	0	
葉山圏域	2	0	1	0	2件継続支援中	
栗東圏域	0	0	1	1	1件継続支援中	
合計	3人	3人	3人	3人	3件継続支援中	
延べ支援対象者訪問回数	19回	14回	13回	11回	13回	
内 看護師・作業療法士同行訪問回数	看護師5回	看護師9回	看護師11回	作業療法士3回	作業療法士11回	

令和3年度の粟東市初期集中支援チーム員事業

■診断の有無に関わらず、サービス導入後の日常生活であっても、本人、家族の困りごとに介入・支援をすることで、少しでも在宅での生活を安心して続けられることを目指し、作業療法士を中心にチーム支援を実施。

■訪問を通じて、認知症の人が日常生活の中でこういったことに困り、こういったサポートがあれば良いのか、認知症の症状や行動を分析し、生活状況に応じて本人や家族に助言や相談支援を丁寧を実施。
本人らしい暮らしに向けた実現に向けて会議での検討を実施。